●第二中学校校舎の建て替えに関する意見交換会【令和５年４月２０日（木）１８時半～　於：弘前市民体育館）】意見等一覧

	意見・質問	回答
1	「不登校生徒が増加傾向にある」ことも踏まえて基本方針を検討したとのことだが、何人くらいの不登校生徒を見込んでいるのか。 公共施設部分に関して、外部空間も使って一体で使用できるように整備すれば、幅広い活動に対応できるのではないか。	不登校生徒の人数は、現在資料を持ち合わせておらず、回答できかねる。公表されている情報かどうか確認したうえで、可能な範囲で設計業者に情報提供する。
2	駐車場は学校関係者用と公共施設利用者用でエリア分けするとのことだが、公共施設利用者エリアが満車の場合、学校関係者エリアに駐車してもいいのか。	厳密にエリア分けして駐車を制限するものではないため、状況に応じて駐車可能。
3	多目的スペースに関して、教室がオープンになるということか。中学校の場合は高校受験があり、オープンになることで学習への影響も懸念されるのではないか。このことについて、学校現場としっかり協議のうえで方針を決めてもらいたい。 オープンになる場合、暖房設備は廊下にも設置するのか。 学校現場においては、省エネの観点で、使用していない教室の暖房は切りがちだが、この場合、校舎内で寒暖差が生じ、寒気が児童生徒の生活スペースに入り込むことが懸念される。設置後の運用も考えて計画してもらいたい。	資料に掲載しているものはあくまでもイメージであって、この内容で設計業者に提案を求めるものではない。学校関係者と協議を重ね、検討を進める。 オープンになる部分は暖房設備の設置を想定している。
4	建て替え後、数十年使用する校舎になるので、設備に関しては将来の省エネ基準を見据えて設計業者に提案を求めることで、暖房費も安くなり、学校現場でこまめに暖房を切ることも少なくなるのではないか。 トイレは、LGBTに配慮したものにしてもらいたい。	ご意見を参考に、引き続き、検討する。
5	複合する公共施設は、下町地区以外の市民も利用可能か。	勤労青少年ホームの機能の一部を集約するという点では、下町地区住民の地域活動に供用する施設として整備するものだが、下町地区以外の住民も利用可能。